



SYUPPIN®

SYUPPIN  
TIMES

第19期  
株主通信

2023年4月1日  
▶ 2024年3月31日

シュッピン株式会社

証券コード:3179

SyuppinCo., Ltd supports Paralympic Art



## EIC企業となることを宣言します

ECの小売業から最先端テクノロジーを駆使し続ける  
テクノロジー企業へ変革します

代表取締役社長 **小野 尚彦**

### Q 2024年3月期はどのような1年でしたか？

2024年3月期は、主軸のカメラ事業が引き続き堅調な成長を示し、加えて時計事業の販売も回復したことで、堅調に推移いたしました。

AIコンテンツレコメンドの配信数も過去最高を記録、メール・LINEにて月平均500万件の配信を実施し、お客様とのタッチポイントも順調に増加しております。

また、YouTube中心に動画の制作や配信を行う「コンテンツクリエイティブ部」を新設し、販促効果が表れ始めております。一方で、カメラ事業にて、2023年12月から2024年1月に国内

モール停止というシステム障害も発生しましたが、当社の自社サイト比率は同四半期84.2%と高い水準にあることも功を奏し、影響は軽微でありました。

時計事業においては、高値掴みであった一昨年度の在庫も昨年度第1四半期で一括し、業界初となる「ワンプライス買取」をさらに強化、対象商品を2,600点から6,000点に増加いたしました。カメラ事業で成果を発揮しているAIによるサポートを時計事業でも導入することで、利益を確保した価格水準での販売を両立しております。

## 業績ハイライト

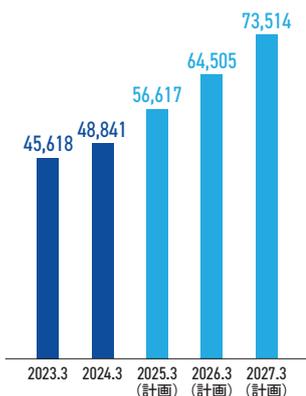
業績に関する詳細はIRサイトをご覧ください。決算短信、決算説明会資料などを掲載しております。

シュッピン株式会社

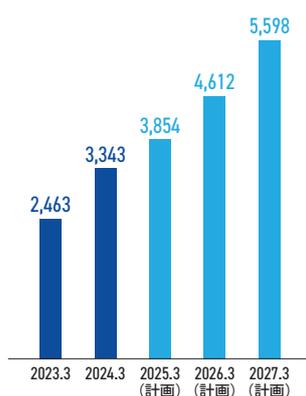
検索



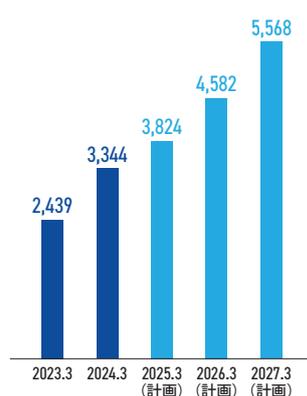
### ■ 売上高 (百万円)



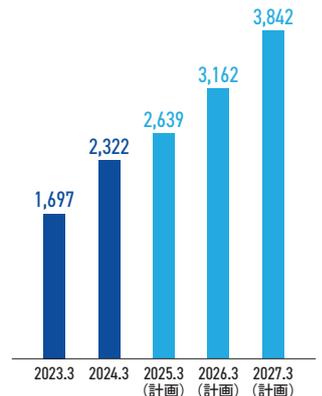
### ■ 営業利益 (百万円)



### ■ 経常利益 (百万円)



### ■ 当期純利益 (百万円)



グローバル市場では、eBayにおいて2年連続で最優秀賞を受賞し、カメラカテゴリでは3年連続の受賞という輝かしい成果を上げました。

これらの結果、2024年3月期の当社は、過去最高の売上高を達成、営業利益・当期純利益も計画を上回り、前期から2桁成長を達成しております。

## Q 2025年3月期の業績予想、取り組みについて教えてください。

2025年3月期は、売上高566億円、営業利益38億円、当期純利益26億円を計画しております。

主軸となるカメラ事業においては、市場も国内出荷台数は年20~30%の成長を続けており、当期は五輪の開催に向けた新商品の発表などにより、買替需要が期待されます。この需要に応えるため、当期はお客様とのタッチポイントの機会の創造をさらに強化し、映像コンテンツの制作・配信にも一層力を入れ、事業の成長を図ってまいります。

1店舗でのお客様とのタッチポイントには限りがありますが、当社は、One to Oneマーケティングにより四半期で1,600万人のタッチポイントがございます。これは来店客数換算で350店舗に匹敵いたします。このような「Web上の多店舗化」を推進し、固定費のかからない高利益を生み出す体質をさらに強化してまいります。そのためYouTube強化第2弾として、動画コンテンツスタジオを新設し、更なるコンテンツのブラッシュアップと、AIによる購買動機創造への投資を通じて事業の成長を図ってまいります。

また、資本業務提携を行っているカメラの修理会社フクイカメラサービスへ、自社で行っている中古カメラのWeb掲載か

また配当については、当期・中長期の業績見通し、将来の事業展開および内部留保を総合的に勘案した上で、25~35%の配当性向を当面の基準とし、2024年3月期は、1株当たり36円に決定いたしました。将来的には更なる積極的な利益還元を行う方針です。

ら発送までのプロセスのアウトソーシングを行うことで、中古カメラの回転率を向上させるとともに、自社の人材リソースを動画コンテンツの強化に活用いたします。

時計事業では、2024年3月に「AIサポートMD」をリリースいたしました。このAIの導入により、時計価格のトレンドを先読みしながらリスクを抑制することで、売上高と利益の拡大を目指します。

さらに、ショールーミング拠点の強化策として、レディースブランドサロン「BRILLER」の拡張も実施いたします。

また、各サービスを支えるシステムの強化として、2024年3月、テクノロジー・カンパニーへの変革の実現に向け、シグマックス・グループと資本業務提携を締結しました。本提携により各サービスを支えるシステムの強化を加速するとともに、当期はシステムの人員増強も計画しており、安心・安全なお取引を支える環境をより強固にするため、最先端テクノロジーの導入を推進してまいります。

これらの取り組みを通じて、価値あるサービスを創造するテクノロジー企業として、企業の持続的な成長と価値向上に努めてまいります。

## Q 中期経営計画を発表されましたが、どのような内容でしょうか？

2027年3月期に売上高735億円、営業利益55億円、当期純利益38億円を目指す中期経営計画としております。

売上高についてはECで2桁成長を維持、カメラ事業のECは2027年3月期までに毎年15%超の成長、時計事業のECは、2025年3月期に35%の成長を目指し、その後も毎年15%の成長を目指します。

また、前回の中期経営計画から粗利率目標は2026年3月期に18.2%としていましたが、粗利率の目標も引き上げ、2025年3月期に18.8%、2026年3月期および2027年3月期には18.9%を目指します。

さらに当社は、ECの小売業から変革し、最先端テクノロジーを駆使し続けるEIC企業となることを宣言します。

EICとは、Electronic Intelligent Commerceの略称です。今までも当社は、リバリュー×Eコマースの無限の可能性を追求することで、価値ある「モノ」を提供してまいりましたが、今後はさらに、ECにIntelligentを加えることにより、リバリュー+EICという四つのものを掛け合わせたビジネスモデルを構

築し、無駄・無理のない、堅実かつ洗練された更なる価値あるサービスをお客様に引き続きご提供していくことが、当社の大きな課題、目標と捉えております。

事業が安定してきた現在、当社はEIC企業への変革に向けて、テクノロジーへの投資をさらに拡大するフェーズに入りました。開発部門を強化し、テクノロジーに一層注力を行える体制を構築いたします。具体的には、エンジニアの採用と開発部門の強化を進め、現在1チームで行っている開発業務を3チーム体制に拡大します。この新体制では、新技術のキャッチアップとビジネスへの適用、既存サービスの保守と最新技術の運用、社内業務の効率化を推進いたします。これにより、各チームが多様な開発に携わることで、より良いサービスの提供につながると考えております。

今後も各技術分野の最高の開発パートナーシップを構築しながら、常に最先端の技術を導入し、シュッピンはこれからもさらなる「シンカ」を続けます。

# SYUPPIN®のさらなるシンカ

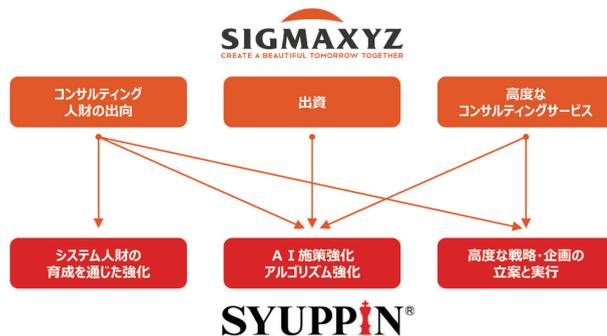
## テクノロジー・カンパニーへの変革の実現

### EIC Company + Re-Value

Electronic Commerce × Intelligence

Reuse × Value

2024年3月、テクノロジー・カンパニーへの変革の実現に向け、シグマキス・グループと資本業務提携契約を締結しました。シグマキス・グループとの資本業務提携で、高付加価値・高額商品領域の事業成長を「リバリュー×テクノロジー」の力で実現します。



## 4つのシンカと2025年3月期の主な取組施策

「4つのシンカ」のそれぞれの視点に「バリューチェーン・シナリオプランニング」をかけあわせ、各種施策を推進。

### 進価 × Solidity

基幹システムリプレイス  
万全を期したリリースに向け再計画中

### 真価 × Resilience

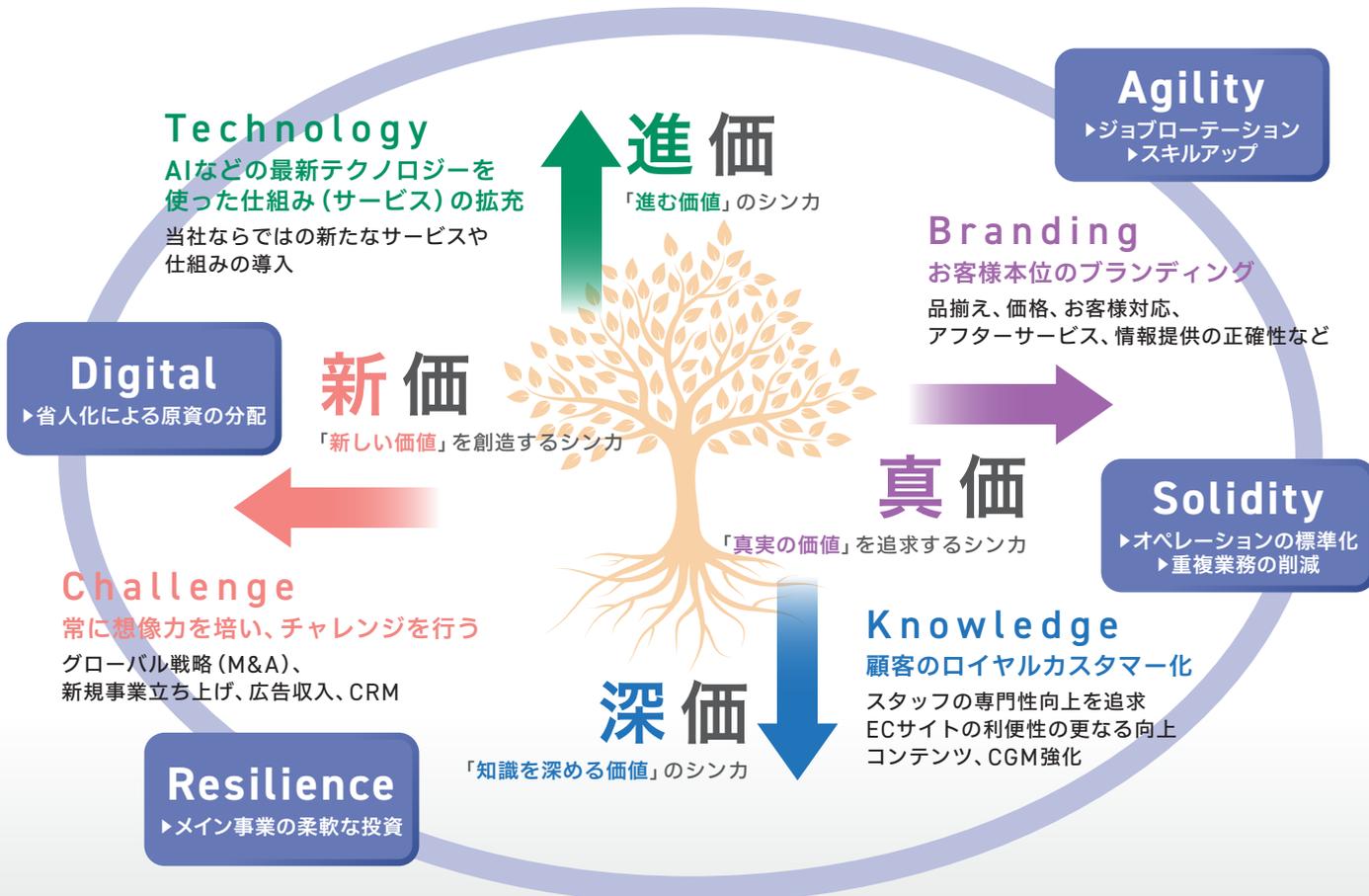
BRILLERリニューアルオープン

### 新価 × Solidity

Web掲載中古のアウトソーシング  
フクイカメラサービス (FCS) と連携

### 深価 × Agility

動画コンテンツスタジオ新設  
YouTube強化 第2弾



# 2023年度のトピックス

## TOPIC 1

### eBayJapanAwards 2023 2年連続最優秀賞受賞、 3年連続カメラカテゴリグロースアワードを受賞！

#### グローバル戦略部 Oさん・Kさんコメント

これらの栄誉ある賞を連続して受賞できたことは、全スタッフの総力が結実したものであるとして、とても誇らしく感じています。価値ある商品を提供するために、商品メンテナンス、商品掲載、顧客対応、国際配送といった各プロセスに丁寧に対応し、また様々なテクノロジーを活かしたことが連続受賞に寄与したと考えています。

私たちの強みは、お客様本位のサービスにあると考え、海外へも安心・安全に高品質な商品を提供できるよう日々努めています。今後は、商品や商品カテゴリの拡充を図るとともに、最新テクノロジーを取り入れながら、さらにグローバルな成長を目指します。引き続き、皆様にご満足いただけるよう全力で取り組んでまいります。

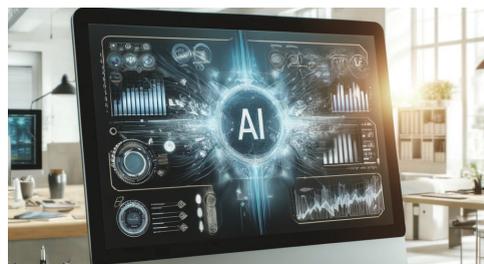


## TOPIC 2

### 高級機械式時計の販売・買取価格設定支援AI 【AIサポートMD】を導入・リリースしました

高級機械式時計の市場価格変動への対応が当社の課題となっていました。カメラ事業でのAI導入が成功し利益率が改善したことに基づき、この度、高級機械式時計のモデル別市場価格の動向や当社在庫状況など、様々なデータを俯瞰して時計の販売・買取価格の設定を支援する【AIサポートMD】を開発しました。これにより、買取・販売の促進と利益率の向上を目指します。

AIが予測した価格トレンドを参考に価格を決定することで、市場動向を迅速に捉え、利益確保と損失回避を実現いたします。



## もっと知りたい SYUPPIN®

### Cさん

**「価値ある『モノ』を次の世代に繋ぐ」**ことに興味を持ち、日々業務に取り組んでいます。高額商材を扱う際には細心の注意を払いながら、同時に大きなやりがいも感じています。

先輩社員を見習いながらも、フレッシュな緊張感を忘れずに誠実な対応を心掛けています。お客様本位であると同時に、スタッフ間の思いやりも大切にしており、悩みを相談できる環境が整っていることが支えとなっています。

お客様に「お買い物を優雅なひとときで」安心して楽しんでいただくため

に、対面に関わらず、YouTubeでのコミュニケーションにおいても、居心地の良さやお客様との距離感、空間の演出など、丁寧な気配りを心がけています。これからもお客様から信頼される存在を目指して励んでいきます。



### Kさん

**学**生時代の留学をきっかけにカメラを購入し、カメラや写真を通じて、さまざまな文化や人々と触れ合う機会が私の人生の大きな転機となりました。初めてカメラを購入されたお客様や、海外からのお客様がその後も来店してくださると、とても嬉しく、やりがいを感じます。

さらに、ブログやX(旧Twitter)などのSNSを通じて、自分のコンテンツを発信することも大切にしています。店頭の人気商品を紹介する投稿や、カメラに関する役立つ情報をシェアすることで、多くのお客様に関心を持っていただけるのは大変嬉しいことです。自分のコンテンツが実際にお客様の購買につながり、店頭で商品を手にとっていただけの瞬間は、非常に喜びを感じます。

カタログ知識だけでなく、お客様が求めている最適なカメラを提案できるよう、商品知識や提案力を日々身につけ、信頼される社員として成長していきたいです。



# IR Information

## 株主優待制度のご案内

当社専門店で使用できるご優待券を進呈

価値ある新品・  
中古品の購入や  
売却にも使える



万年筆やノートなど  
身近な商品も  
購入できる

### ▶ 贈呈基準

毎年3月末日の株主名簿に記載または記録された、100株以上の当社株式を保有する株主様を対象に下記の枚数を贈呈いたします。

保有株式数	枚数 <sup>※</sup>
100株～299株	1枚
300株～999株	2枚
1,000株～9,999株	3枚
10,000株～	5枚

※ 継続保有期間2年以上の株主様には1枚追加して進呈いたします。継続保有期間2年以上の株主様とは、株式数100株以上を保有し、毎年3月末日に確定する株主名簿に同一株主番号で3回以上連続して記載または記録されている株主様を指します。

### ▶ 優待内容

当社専門店での商品購入・売却金額について、以下の通り優待させていただきます。1回のお取引(商品購入または売却)につき1枚のみご利用いただけます。

- **ご購入の場合：5,000円割引**  
(5,000円未満の商品購入時は商品購入額分の割引)
- **ご売却の場合：5%上乘せ**  
(当社買取見積額100万円を上限とします)

▶ **ご利用期限** 2025年6月30日まで

## 会社概要

(2024年3月31日現在)

会社名	シュッピン株式会社
本社所在地	東京都新宿区西新宿1丁目14番11号 Daiwa西新宿ビル3階
設立	2005年8月4日
資本金	541,912,519円
従業員数	244名

## 役員

(2024年6月29日現在)

代表取締役社長	小野 尚彦	社外取締役	村田 真一
常務取締役	斎藤 仁志	社外取締役	滝ヶ崎 裕二
取締役	岡部 梨沙	社外取締役	草島 智咲
		常勤監査役	米田 康宏
		監査役	遠藤 直仁
		監査役	横山 敬子

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	同連絡(郵送先)および 電話照会先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)	公告掲載方法	電子公告により行う
定時株主総会	毎年6月下旬		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		

## 配当

- ✓ 配当性向25%～35%を基準として、利益成長に応じた安定継続配当方針
- ✓ 今後も積極的な利益還元を行う方針

- 1株当たり年間配当額
- 配当性向

